

6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7

早稲田大学図書館
文書 27
A 77

明治三年紀元二千七百零一年也

一月元日七月十月者天降寒

鷄鳴于前時早起東方盡前霜色はらり四方
以終 南天雲駭 白飛雪將暮のちあらん
とす 幸ひ了乃御白あつけくはるる東山
りあふらん定と二千三年國光興らんとも光
景は拜一拜畢の上はあふる布中中央
礼身公く身影と安 いたる内大臣は皇女
公の陽氣は遠近のこほと無へ掛け前例の幸艦
と備のし鏡は上段衣上の末末の
先大人の英氣は徳の尊書と掛け加るる張

吾^生画海機洗もの好福を以て幸艦を海へこ
先つ新年と血の式と意む川前地艦あふ
杉竹飾りるる歌 旧き家祥瑞のなと
尊母七十八のる歌と濟すと減つと五千三の城
の直下と減るる祝く一と例の難を餅の温氣
と十分と南のち著る信教部あり二三五相
帝^光精體しお礼賜を舞 年制九時
夫由改は新皇居
聖上皇居宮に玉顔と拜一なり 皇のあ
坂花は海放り事上
新皇太子の記 又青山所記

